

東海道みちしるべ『もう一人の 浦島の太郎 ものがたり』紙芝居化 in ぬまづ

赤池 康浩（道具商 土筆屋）

事業目的

歴史の道東海道にちなみ、かつて街道の要衝地であった「沼津宿」にゆかりのある江戸期の旅の“沼津人”による新たな創作物語を、幅広い世代に親しみやすい「紙芝居」として沼津の賑わいの場で発表するプロジェクト

現状と目標

- ・「歴史風土紙芝居」作成・口演と街の歴史講話のコラボ化
- ・民間の公共または私設のスペースを賑わい会場化
- ・沼津駅南交差点地下道掲示スペースにて告知、市街ギャラリー(大手町)にて原画展・紙芝居口演・講話等の実施

活動と成果

成果物としての紙芝居製作・完成、沼津宿三町「紙芝居キャラバン」並びに城内「紙芝居原画展」の実施、告知・広報としての新聞社取材 → 紙面掲載(計3回)、SNSによる、記録・発信(専用Facebookグループ)、リアルとしての沼津駅南口交差点地下道掲示板によるポスター、チラシ設置、(現物「紙芝居」使用)による 地区コミュニティフェスティバルにおける紙芝居口演、さんさん学習フェスティバルパネル展示発表参加

総括として、昨年度取り組みからのステップアップにおいて一定以上の、下記成果を得た

- ・路面、マスコミ、SNSの多様な告知等により多世代へのアピールが実現
外部取り上げ事例) 静岡県経済産業部 商工業局地域産業課 運営
- 「ふじのくに魅力ある個店」において
2025年3月ピックアップ特集vol.84「東海道にまつわるお店」掲載決定
<https://f-koten.jp/index.html>
同運営SNSの Instagramへ掲載(03/25～)
https://www.instagram.com/attractive_shizuoka_shops/
- ・申請者個人のみならず、プロジェクトグループによる企画推進を実施
- ・1日のみでなく、複数日・回、複数会場の多様な賑わいの機会創出を実現
- ・来場者からの今後の紙芝居口演のオファーなど、予想を上回る効果へ波及



振返り課題

- 「エリアの拡大」
- 「目に触れる機会の拡大」
- 「関わるメンバーの拡大」

令和5年度→令和6年度

本町→駅南口、城内・上土・本町
1日→PR7日+α、イベント6日
1人→スタッフ・チーム化
「沼津宿つくし隊」
2025/6/11市長表敬訪問

相関図

